

そよかぜだより

第94号
発行 2010. 3. 21
毎月1回発行
社会福祉法人
そよかぜ

連絡先

ひばり園 578-0855
FAX 578-0466
くれよん 578-2575
つくしの家 578-0855
あおぞら 570-6110
エール 570-1233

資源回収時のご連絡は
「ひばり園」へ

長いあいだ、ありがとうございました

福祉のお店 あおぞら 3月26日をもって閉店します

平成13年から9年間、ご支援、ご協力いただいたみなさまに

心から御礼を申し上げます

羽村市リサイクルセンターの家具を販売していた「福祉のお店あおぞら」を閉店することになりました。ひばり園の新しい施設ができたので、あおぞらのお店で働いていたスタッフが新施設に移り、お店を担当する人員配置がでなくなつたためです。

3月26日が最後の営業日になります。その後、店内の片付けと引越しを今月中に行い、4月1日からは、それまでお店のスタッフをしていた利用者職員は全員ひばり園で働きます。長年ごひいきに下さつて顔なじみになつたお客様もたくさんいます。どうぞひばり園の見学においでいただいて、みんな元気に働いているところを見てやってください。

あおぞらは、平成十三年四月に閉店しました。当初は一階のお店だけでしたが、その後、旧ひばり園が定員いっぱいになつたので、二階を作業所にしてひばり園の兄弟になりました。障害者の作業所でありながら、市民の方が自由に出入りできるお店としてみなさまにごひいきにしていたことができました。いま新築の立派なひばり園に行くことができますのも、いままでのみなさまのご支援の賜物です。本当にありがとうございました。

いになつたので、二階を作業所にしてひばり園の兄弟になりました。障害者の作業所でありながら、市民の方が自由に出入りできるお店としてみなさまにごひいきにしていたことができました。いま新築の立派なひばり園に行くことができますのも、いままでのみなさまのご支援の賜物です。本当にありがとうございました。

障がい者制度改革推進会議

差別禁止法と虐待防止法

政府の第4回障がい者制度改革推進会議が3月1日以内閣府で開かれ、障害者差別禁止法を制定する必要性が確認されました。労働、教育、地域生活、移動、情報保障など、あらゆる生活分野を包括する法にすべきだとしました。

その中に含まれる障害者虐待防止法については、虐待行為者の範囲を検討し、家族、介護者、福祉従業者、使用者、

学校関係者、医療従事者などが含まれるべきだとの意見が大勢を占めました。医療機関と学校も対象にすべきだとの見解は旧野党が提出した法案より範囲が広がっています。救済機関に与える権限については今後も議論していくことになりました。

ご協力ありがとうございました。 2月の募金 39,239円
(順不同) 平成21年4月～22年2月の合計 365,930円

五十嵐 ふみ江 様	市川 明宏 様	田中 明子 様
とまと美容室 様	藤野 和子 様	橋本 亜紀子 様
中原 幸政 様	加藤 春花 様	大内 たま子 様
帯刀 幸子 様	加藤 夏花 様	田中 稔 様
若松 時義 様	加藤 和輝 様	大野 素子 様
山下 暉枝 様	清水 賢 様	山影 幸子 様
濱野 岬 様	清水 知子 様	関村 理 様
エイ・アイ 様	大野 元雄 様	関村 英希 様
天満 喜代子 様	北野 浩美 様	阿部 郁子 様
渡辺 時三 様	下田 コウ 様	桜沢 富子 様
山崎 六雄 様	川崎 利男 様	平岡 知子 様
榎本 正代 様	清水 キヨ子 様	長谷川 キヌ子 様
松岡 竹子 様	角野 克子 様	尾又 恭子 様
竹内 照夫 様	渡辺 四郎 様	本間 正彦 様
袴田 実 様	田村 由親子 様	桜沢 喜作 様
斉藤 忠 様	田村 千佳 様	小沢 達子 様
土屋 三枝子 様	永岡 智恵子 様	アバンバンディックス 様
平野 嘉子 様	吉野 満里子 様	㈱八洋 様
ア-サンカワノ 様	匿名様(2,591)	

ご連絡は、ひばり園へ
羽村市栄町3-3-1
042-578-0855

くれよん2月の売上げ
666,010円でした。

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でプルトップ収集にご協力して下さっています。ありがとうございます。

社会福祉法人 そよかぜの

《資源回収》に

ご協力をお願いします 新聞、雑誌、ダンボール

(ボロは扱っていません)

2月は15,730tでした。金額は227,529円となりました。この収益は、社会福祉法人そよかぜの運営資金になります。みなさまのご協力ありがとうございました。

4月は第3日曜日18日です。

大雨の場合は、次週の日曜日に順延します。

モーツアルトもベートーヴェンもアスペルガー

真の独創性と極度の集中力

「天才の秘密」——この障害があるから天分が花開く

「天才と狂気は紙一重」とは

誰でも知ってる古いことわざですが、かの有名なモーツアルトとベートーヴェンは、いまの精神医学で診断すると間違いなくアスペルガー症候群だった、といわれるといささか驚きます。これはごく最近に出版された「天才の秘密」という本を読んで知りました。

「アスペルガー症候群と芸術的独創性」という副題が付いていて、著者は自閉症の研究で世界的に知られたM・フィッツジェラルドというアイルランドの先生です。

この本の中では先の二人の音楽家の他にも、画家のゴッホ、童話作家のアンデルセン、哲学者のカントなど歴史に名を残す天才たちが並んでいます。人類の宝物のようなすばらしい作品を世に出し偉業を成し遂げた大天才が、実はアスペルガーであったと判定することには、ただびっくりするだけではなく、別の効果が

あります。

アスペルガーは、人間関係が苦手、空気が読めない、狭い興味関心、決まった手順の繰り返し、運動機能のぎこちなさなどを特徴として私たちは理解しています。しかしそれでは否定的な部分のみが強調されていて、だから障害者なのだと結論を出して一件落着となつていきます。本書は、

天才こそ狂気との共存者であるが故に偉業を成し遂げることができたのだとして、アスペルガーを称賛する内容になつているのです。この斬新な切り口は、私たちがアスペル

ガーの人たちと接する際に、否定するだけでなく肯定的な部分にも目を向けるように教えてくれます。

テンブル・グランデンという学者は、本人が強い自閉症で、その体験から数々の自閉症に関する著書で有名ですが、「天才はアブノーマルだということは、あり得る話だ、自

閉症的知性は、世界に多様性と創造性をもたらすために必要不可欠であると信じている。仮に、科学がこの遺伝子を取り除いてしまうようなことがあれば、全世界は会計士に乗っ取られてしまうだろう」といつています。（ここで会計士とはお金の計算をするだけの人という意味です。）

それでは本書の中から二人の大音楽家について、さわりの部分を紹介します。

モーツアルトは子供のときから神童といわれ、六歳にしてピアノとヴァイオリンで高度な技術を発揮し、その上、今でも演奏されるような作品を作曲しました。三十五歳で亡くなりますが、それまでに協奏曲、交響曲、オペラと全部で600点以上の作品を世に出して、天才とよばれるものに最もふさわしい人でした。

天才というものを定義すれば「伝達不能な天分で、教えたり伝えたりはできないが、不思議なことにある種の芸術家には生まれつき備わっている天性の非凡な能力」だそうです。つまり努力や熟練では

獲得できない能力ですが、モーツアルトこそまさにそのよな人でした。しかし彼の墓はわかっていないし、彼の葬儀に出席した人はほとんどなく、彼の妻も葬儀にはでなかったのです。このことから私生活の状態はおおよその見当がつくというものです。

当時、音楽家のパトロンになる貴族に対しては尊大に振る舞い、あまりにも純粹だったため協力者が必要であると理解することができなかった。人間関係においては子供のよう

で金銭についての意味や価値の感覚がわからなかった。彼の義妹は「少しもじつとしていなかった、極端な感受性を持ちながら他人は平気で傷つけた」といつています。

著者はモーツアルトをアスペルガーで注意欠陥多動性障害は確実としています。

ベートーヴェンは、孤独で引きこもった幼年時代を過ごしました。ほかの子どもと遊ぶことがなく学業で進歩する能力はないと見られていました。彼は生涯を通して算数は足し算しかできなかった。青年期になつてある女性に結婚

の申込みをしたが、ほのめかしや準備をせういきなりだった。しかも彼女とほかの男性との結婚式の当日に打ち明けたので、もちろんすげなく断られた。またある人がいたずらで、盲人用のランプが発明されたと手紙に書くと、彼は真に受けてそのニュースを友人全員に広めた。

彼の親友たちは彼の機嫌と突然の怒りに苦労しました。突然の怒りの後にはたいいて限りない後悔の表情がついてきました。ウィーン一の偉大な作曲家は崇高なる狂人だといふ考えを強化させ、気の狂った精神障害者で、人間嫌い、しかも心の不安定な世捨て人と言われました。

著者はベートーヴェンを、アスペルガーの診断基準を満たし、かつ統合失調質人格障害の基準を満たしているといいつています。

音楽の才能はほかのどの分野の才能よりも早期に出現するそうです。この二人は天才の中でもとび抜けた存在であり、彼らを超える音楽家は今後出ないだろうと言われています。

この本には、先にあげた人たちの他にも、芸術や学問の分野で今なおその人の業績によつて社会が動いているような、大天才がきら星のごとく並んでいます。これを見ると天才はすべてアスペルガーではないかと思えます。そういえばノーベル賞をもらった日本の化学者は、生活面では子どもと同じだと奥さんがテレビで話していました。奥さんが目を放すと左右別々の靴下をはいて外出することなど当たり前だそうです。もしかするとその化学者もあやしいのかもしれない。テンブル・

グランデンがいうようにアスペルガーがいなかったらこの世は本当に味気ないものになるでしょう。

アスペルガーを世に紹介したハンス・アスペルガーは「この人たちは伝統や文化の影響を受けず、型にはまらず、非正統的で、妙に純粹で、独自の性のある人たちだ」といつています。これこそ天才の素質です。たとえ天分といわれるほどの能力はなくても、このような見方でこの人たちに接していききたい思っています。

アスペルガーを世に紹介したハンス・アスペルガーは「この人たちは伝統や文化の影響を受けず、型にはまらず、非正統的で、妙に純粹で、独自の性のある人たちだ」といつています。これこそ天才の素質です。たとえ天分といわれるほどの能力はなくても、このような見方でこの人たちに接していききたい思っています。